

予算審査特別委員会記録

令和8年3月16日（月）午後3時開議

○審査日程

- 1 議案自第15号至第32号分科会報告、意見表明、採決

○出席委員

石川美香君	吉川英二君
茂呂一弘君	岳田雄亮君
須藤博文君	岡崎純子君
黒澤和泉君	野島友介君
山崎真彦君	大平真弘君
渡邊惟大君	桜井秀夫君
青山雅紀君	伊藤隆広君
前田健一郎君	石川弘君
小坂さとみ君	三井美和香君
渡辺忍君	安喰初美君
椛澤洋平君	守屋聡君
蛭田浩文君	伊藤康平君
阿部智君	松坂吉則君
植草毅君	岩井雅夫君
亀井琢磨君	田畑直子君
川合隆史君	麻生紀雄君
段木和彦君	佐々木友樹君
盛田眞弓君	櫻井崇君
森山和博君	酒井伸二君
小松崎文嘉君	向後保雄君
宇留間又衛門君	中島賢治君
三須和夫君	石井茂隆君
米持克彦君	石橋毅君
三瓶輝枝君	中村公江君
野本信正君	

○欠席委員

白鳥誠君

○説明員

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年予算審査特別委員会記録（3月16日）

市長	神谷俊一君	副市長	大木正人君
副市長	橋本直明君	総合政策局長	藤代真史君
総務局長	久我千晶君	財政局長	勝瀬光一郎君
市民局長	那須一恵君	保健福祉局長	今泉雅子君
こども未来局長	大町克己君	環境局長	秋幡浩明君
経済農政局長	安部浩成君	都市局長	鹿子木靖君
建設局長	山口浩正君	消防局長	市村裕二君
水道局長	山田裕之君	会計管理者	折原亮君
病院局次長	橋本欣哉君	市長公室長	山崎哲君
総務部長	中尾嘉之君	財政部長	大畑晃君
教育長	鶴岡克彦君	教育次長	中島千恵君
選挙管理委員会事務局長	清水公嘉君	人事委員会事務局長	桑本茂樹君
農業委員会事務局長	渡部義憲君	代表監査委員	宍倉輝雄君
○議会事務局			
事務局長	香取徹哉君	次長	寺崎勝宣君
議事課長	安西雅樹君	議事課長補佐	佐藤大介君
議事班主査	石黒薫子君		

午後3時0分開議

○委員長（石川 弘君） ただいまから予算審査特別委員会を開きます。

出席委員は49名、委員会は成立いたしております。

本日の審査日程につきましては、お手元に配付のとおりでございます。

議案自第15号至第32号分科会報告、意見表明、採決

○委員長（石川 弘君） それでは議案第15号から第32号までの18議案について、分科会報告、意見表明、採決を行います。

分科会報告につきましては、お手元に配付のとおりでございます。

分科会報告を添付

○委員長（石川 弘君） 意見表明の通告が参っておりますので、通告順に従いお願いいたします。森山和博委員。

○委員（森山和博君） 公明党千葉市議会議員団を代表して令和8年度予算案に対して、賛成の立場から意見表明いたします。

新年度予算案の審議に当たっては、市長の提案理由の説明や、我が会派の代表質疑に対する

答弁、さらには予算審査特別委員会における審議などを通じ、財政の健全性への配慮とともに、厳しい財政状況のなか、生活者の視点に立っているか、かつ持続的な施策展開のため、一部事業の見直しや、適切に判断されたかどうかなどにも注力し、慎重に検討してまいりました。

結果、社会状況の変化を踏まえ、既存事業の見直しや、効率化を徹底する一方で、未来を担う子ども・若者への支援、教育環境の充実、持続的な高齢者・障害者等への支援、そして、気候変動対応や脱炭素社会の実現に向けた取組、さらには都市機能の更新など、令和8年度予算案が将来の千葉市を形作るための重要施策に重点配分されていることを確認いたしました。

加えて、財政調整基金の取り崩しが続く厳しい財政状況下にあっても、持続的な財政運営に資する施策を着実に実施し、限られた財源を最大限に活用しようとされ、さらには長引く物価高騰対策など、市民の声を集約した公明党千葉市議会議員団の令和8年度予算編成に関する要望項目を多く取り組まれていることが認められたことなどから、新年度予算案を評価すべきものと判断いたしました。

引き続き、将来に渡り持続可能な財政構造の確立を進めるため、将来負担とのバランスを踏まえた未来への投資を着実に進め、税源の涵養など自主財源の確保に力を入れなければなりません。

一層の市民福祉の向上を目指すため、職・住・遊が近接の千葉市、海辺と里山など自然豊かな千葉市という強みを活かし、これからも選ばれる都市となるよう、そして、新年度に計画された各種施策を全力で取り組まれるよう要望し、公明党千葉市議会議員団の意見表明といたします。

○委員長（石川 弘君） 須藤博文委員。

○委員（須藤博文君） 会派を代表いたしまして、令和8年度の予算議案に賛成の立場から、意見表明を申し上げます。

今回提案されております新年度予算につきましては、市長の提案理由説明、代表質疑に対する答弁、さらに、予算審査特別委員会における分科会での審議等を通じまして、どのような施策が盛り込まれたのかなど、慎重かつ詳細に検討してまいりました。

その結果、令和8年度予算の主な取組として、極めて厳しい収支状況にある中、少子・超高齢化や老朽化したインフラ施設等の健全性確保といった課題への対応とともに、体育館冷暖房設備の整備や外国にルーツを持つ児童生徒への支援体制強化などの教育環境の充実のほか、新港清掃工場のリニューアル・北谷津清掃工場周辺整備や町内自治会業務の負担軽減といった持続可能なまちづくりに向けた予算が編成されておりました。さらに、千葉開府900年の取組、アルティアリー千葉の新アリーナ整備支援、千葉マリスタジアムの再構築、企業立地支援など、千葉市としての都市ブランドを向上させる投資としての施策に関する予算などの取組も確認できました。

また、国の補正予算に呼応し、一部の事業を令和7年度補正予算に前倒ししながら、切れ目のない対策を実施するとともに、生活者・事業者への支援に向け、重点支援地方交付金を活用した本市独自の物価高対策も併せて計上するなど、市民の皆様の要望に応える施策がおおむね盛り込まれていることが確認できました。

しかしながら、30億円の財政調整基金の取り崩しがあり、年度中の追加財源需要も踏まえ、効率的な予算執行等、実質収支及び財政調整基金の確保に努めることが喫緊の課題であります。

引き続き、物価高騰に加え、超少子高齢化、公共施設をはじめインフラ設備の老朽化対策な

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年予算審査特別委員会記録（3月16日）

ど、多額の財政需要が見込まれますが、健全な財政運営に向けた取組を着実に推進するとともに、都市の活力の向上及び市民の皆様方より豊かな暮らしの実現に向けて努力されるようお願いいたしまして、自由民主党千葉市議会議員団の意見表明といたします。

○委員長（石川 弘君） 守屋聡委員。

○委員（守屋 聡君） 日本維新の会ちばを代表いたしまして、令和8年度予算案について賛成の立場から意見表明を行います。

本予算案は、予算規模が1兆209億円と過去最大となる一方、一般会計においては前年度比95億円、1.7%減と、厳しい財政状況下で、選択と集中を徹底した編成であり、高く評価をいたします。

特に、事務事業の徹底した見直しについては、我々が求めてきた、身を切る改革の精神に通ずるものであります。

教育だよりのデジタル活用による発行廃止や、公民館と市民センターの複合化による建築コストの抑制、さらには下水道事業の包括的民間委託の拡大など、前例踏襲を排し、時代の変化に合わせた最適化が図られております。こうした地道な歳出削減の積み重ねこそが、持続可能な市政運営の礎となると考えます。

一方で、未来への投資では千葉開府900年という歴史的節目を機に、中央公園周辺の再整備やマリスタジアムの再構築、アルティアリー千葉新アリーナへの支援など、都市の魅力を高め、地域経済を牽引する施策が盛り込まれております。これは単なる箱物整備ではなく、交流人口の拡大と税収増につながる攻めの投資として期待するものであります。

また、RSウイルス母子免疫ワクチン接種の実施やこども誰でも通園制度の推進、不登校対策の強化など、子育て・教育施策の充実は、次世代を担う子供たちへの確かなメッセージとなると考えます。

最後に、物価高騰という市民生活への直近の課題に対し、学校給食費の負担軽減や中小企業支援を迅速に講じている点も、評価に値します。

今後も、さらなるDXの推進と民間活力の導入により、行政の効率化を加速させ、市民が真に豊かさを実感できる選ばれる都市千葉市であり続けるために、本予算を適正かつ迅速に執行されることを強く求めまして、会派の意見表明といたします。御清聴ありがとうございました。

○委員長（石川 弘君） 盛田眞弓委員。

○委員（盛田眞弓君） 議案第15号・令和8年度千葉市一般会計予算について反対の意見を申し上げます。

反対の第1の理由は、住民福祉の増進を図る、地方自治の本旨及び千葉市基本構想の基本理念、人間尊重・市民生活優先に基づいて新年度予算を分析すると、物価高で厳しい生活を強いられている市民に対して、下水道使用料、国民健康保険料、公共施設利用料など公共料金を引き上げて、市民負担を増大させるものだからです。

第2の理由は、必要性の乏しい事業や、急がなくてもよい事業など大型開発等を見直して、その財源を市民生活向上に振り向けることを拒否していることであります。

第3の理由は、国政との関係で大軍拡と不透明な企業献金の黙認、社会保障切り下げ等、国民の暮らしと平和を脅かしている高市政権に対しての批判を求めましたが、いずれの質問に対しても、国会で審議するものと答え、高市政権に追随する姿勢に終始しているからです。

続いて新年度予算に対して意見を述べます。

新年度の予算編成の背景には、物価高騰や社会保障の切り下げなどによる市民生活への深刻な影響があり、これらの課題への的確な対応が求められています。

新年度予算では、子育て支援や教育環境の充実、包括的支援体制の構築等が行われているほか、国の重点支援地方交付税57億7,800万円を活用した補正予算を計上するなど、市民要望を反映した事業にも配分がなされています。一方で、国民健康保険料10億5,401万円の引き上げにより、市民の命と健康を脅かし、公共施設の利用料等2億1,296万円、自転車駐車場の利用料2億2,110万円、下水道使用料20億398万円等、合計32件45億4,353万円及び、市立病院の差額ベッド代の値上げや学校体育施設冷暖房実費負担等市民負担増を重くする予算となっています。

日本共産党千葉市議会議員団は、市民福祉・サービスの切り下げを中止すること、また、さらなる物価高騰対策等の実施と、中学校給食の無償化や高齢者の外出支援などを行い、市民生活の向上を図ることを求め、意見表明いたします。

○委員長（石川 弘君） 岡崎純子委員。

○委員（岡崎純子君） 立憲民主・無所属千葉市議会議員団の岡崎純子でございます。

会派を代表いたしまして、令和8年度予算に対し、賛成の立場から意見表明を行います。

この度提案された予算議案については、代表質疑や分科会を通し、会派において慎重かつ詳細に審議してまいりました。

新年度予算については、障害者介護給付や民間保育給付をはじめとする社会保障関係経費、市有施設の老朽化対策、物価高騰に伴う各種行政コストがさらに増加することに加え、人件費や金利上昇に伴う公債費など、歳入増を上回る多額の財政需要が見込まれる中ですが、将来にわたって持続可能な財政運営に向け、市民生活への影響に配慮しつつ、社会状況等の変化を踏まえ、これまで以上の徹底した既存事務事業の見直しに取り組んでいらっしゃることと確認しました。

各施策に関してですが、まず、大都市ならではのインフラ需要に応えた都市基盤強化の一環として、県都の玄関口である千葉駅周辺の活性化、千葉公園の再整備や、幕張新都心の街づくりの基盤でもあるマリスタジアムの再構築、老朽化インフラ施設等への健全性の確保に取り組まれるなど、市民生活の向上につながる施策へ重点的に投資を図っている姿勢がうかがえます。千葉開府900年の取組などの予算も確認いたしました。

防災対策においては、インフラの整備とともに、既存システムを活用した高潮に関する啓発動画の作成を行うなど、全市的な展開の第一歩につながる事業もありました。

子育て支援に関しては、エンゼルヘルパー派遣による外出支援の実現をはじめ、公立保育所の老朽化対策として、建て替えなど管理に係る計画の取組など、子育ての現状を的確に把握し、計画を進められていることも実感できます。

地域においては、町内自治会業務の負担軽減の一環として、デジタルツール展示・相談会が予算化され、地域での担い手不足の解消につながっていると感じます。自治体・地域社会のDX取組の加速も見込まれ、引き続き市民の皆様がより暮らしやすいまちの実現に期待します。

以上を総合的に勘案し、市長より提案されました令和8年度予算案に対し、改めて賛成の意を表し、立憲民主・無所属千葉市議会議員団を代表しての意見表明いたします。ありがとうございます。

○委員長（石川 弘君） 以上で意見表明を終わります。

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年予算審査特別委員会記録（3月16日）

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案のうち、第17号から第20号まで、第22号、第23号、第25号から第27号まで及び第29号から第31号までの12議案を原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石川 弘君） 御異議ないものと認め、原案どおり可決されました。

続いて、電子採決システムにより採決いたします。

お諮りいたします。議案第16号、第21号、第24号、第28号及び第32号の5議案を原案どおり可決することに賛成または反対のボタンを押してください。

〔賛成・反対ボタン押下〕

○委員長（石川 弘君） 押し間違いはありませんか。

ないものと認め、確定いたします。

採決の結果を申し上げます。賛成多数であります。よって、原案どおり可決されました。

続いて、お諮りいたします。議案第15号を原案どおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

〔賛成・反対ボタン押下〕

○委員長（石川 弘君） 押し間違いはありませんか。

ないものと認め、確定いたします。

採決の結果を申し上げます。賛成多数であります。よって、原案どおり可決されました。

以上をもちまして、予算審査特別委員会を終了いたします。

長期間、慎重審査、ありがとうございました。

午後 3 時 16 分 散 会

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年予算審査特別委員会記録（3月16日）

千葉県議会委員会条例第29条の規定により署名する。

予算審査特別委員長 石 川 弘